

産業建設常任委員会

1 議案 可決
7 議案 認定等

委員長 小林信雄
副委員長 藤和雄
委員 齋藤勝義、田原肇夫、鎌田良由、栗原中恵、田佐伯寿子、森鈴木久正、鈴木正行

《加須市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例》

問 農業委員と農地利用最適化推進委員の業務分担は、

答 農業委員の業務は主に権利移動や転用許可等の決定行為で、農地利用最適化推進委員は農地パトロール、利用状況の調査、遊休農地の発生防止など現場活動を主にを行います。

《農業集落排水事業決算認定》

問 加入促進の方法と加入率の目標値は、

答 戸別訪問を中心に、現在の72・6％から76・9％への向上を目指します。

《加須都市計画事業野中土地区画整理事業決算認定》

問 使用収益開始面積と割合は、

答 13万4618平方メートルで、全体の32・2％です。

《加須都市計画事業栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業決算認定》

問 市費の総投入額は、

答 48億971万1000円です。

《水道事業会計利益の処分及び決算認定》

問 有収率が低下傾向にあるが、向上のための対策は、

答 平成28年度より地中での漏水を発見する漏水調査と、老朽管の更新工事を並行して実施することで有収率を向上させていきます。

《下水道事業会計利益の処分及び決算認定》

問 現在の水洗化率85・4％を100％に近づけるには、

答 加入促進計画を用いて戸別訪問を随時行い、加入率の向上を進めていきます。

決算特別委員会

1 議案 認定

委員長 竹内政雄
副委員長 田健一
委員 吉田正則、金子好一、池田徳真、新井裕、小勝裕

一般会計決算認定について、

9月20日・21日・23日に内容の審査、26日に現地調査及び28日に総括質疑を行いました。

問 市税及び国民健康保険税の差押件数及び換価充当額は、

答 市税及び国民健康保険税を合わせた差押件数は、764件で、換価充当額は1億437万7321円となり、平成26年度と比較して、件数で43件、金額で1383万8941円の増となりました。

問 「浮野の里」自然環境保全事業に関し、天候不順のためヨシ焼きが実施できなかったことによる植物に対する影響は、

答 ノウルシなどの植物に対する大きな影響はなく、また、過去に実施できなかった時も同様に影響はありませんでした。

問 公立放課後児童健全育成事業に関し、定員を超えている健全育成室は、

答 平成28年3月1日現在、16施設のうち8施設が定員を超えている状況です。

問 実践型地域雇用創造事業に関し、いちじくを活用した新商品は実用段階に入っているのか。

答 4種類の新商品に興味を示した企業や農家があり、今後実用化に向け進んでいく段階です。

問 公立放課後児童健全育成事業に関し、定員を超えている健全育成室は、

答 平成28年3月1日現在、16施設のうち8施設が定員を超えている状況です。

問 実践型地域雇用創造事業に関し、いちじくを活用した新商品は実用段階に入っているのか。

答 4種類の新商品に興味を示した企業や農家があり、今後実用化に向け進んでいく段階です。

問 溢水時緊急対策事業に関し、水防協力員の活動内容は、

答 集中豪雨や台風等で道路冠水が発生した際、市職員が到達する前にいち早くバリケードで閉鎖したり、農業用の堰を解放することなどが主な活動内容です。

【現地調査実施箇所】

- ・北川辺総合支所耐震対策事業（北川辺総合支所）
- ・小学校施設整備・公立放課後児童健全育成事業（大利根東小学校・大利根東児童保育たなばた室）
- ・水路維持管理事業（琴寄地区）
- ・スポーツ施設整備事業（南篠崎体育館・加須市民体育館）
- ・溢水対策整備事業（礼羽地区）



電動化された第2雨水幹線水路鋼製堰（礼羽地区）

決算特別委員会現地調査



クライミングウォール（加須市民体育館）